

200805020A

平成20年度 厚生労働科学研究費補助金特別研究事業

精神障害者の訪問看護におけるマンパワー等
に関する調査研究

報 告 書

平成21（2009）年3月

研究代表者

聖路加看護大学 教授 萱間 真美

目 次

第1章 調査研究の概要.....	1
1. 背景・目的.....	1
2. 実施体制.....	1
3. 実施方法.....	2
1) 調査の設計.....	2
2) 調査対象.....	5
3) 調査方法.....	5
4) 回収状況.....	6
5) 倫理的配慮.....	6
4. 表章上の留意点.....	6
第2章 精神科訪問看護の実施状況.....	7
1. 訪問看護ステーション（一次調査）.....	7
1) 回答事業所の概況.....	7
2) 精神科訪問看護を実施しない理由.....	9
2. 訪問看護ステーション（二次調査）.....	11
1) 回答事業所の概況.....	11
2) 精神科訪問看護の実施状況.....	14
3. 病 院.....	17
1) 回答施設の概況.....	17
2) 精神科訪問看護の実施状況.....	20
第3章 複数名による精神科訪問看護の実施状況.....	25
1. 訪問看護ステーション.....	25
1) 利用者の属性.....	25
2) 精神科訪問看護の実施状況.....	31
3) 複数名訪問の必要性.....	34

2. 病院.....	37
1) 利用者の属性	37
2) 精神科訪問看護の実施状況	43
3) 複数名訪問の必要性	46
3. 自由記載欄の分析.....	49
1) 複数名訪問の際の役割分担.....	49
2) 複数名訪問となった理由・患者の状況.....	50
第4章 まとめと考察.....	53
1. 訪問看護ステーションにおける精神科訪問看護の実施状況.....	53
2. 精神科訪問看護のニーズの顕在化.....	53
3. 精神科訪問看護の実施体制.....	54
4. 複数名訪問による精神科訪問看護の実施状況.....	54

資料編

訪問看護ステーション一次調査票

訪問看護ステーション事業所票

訪問看護ステーション個票

病院施設票

病院個票

第1章 調査研究の概要

1. 背景・目的

日本の精神保健施策は入院中心から地域生活中心への改革期にあり、精神障害者の退院促進とその後の地域生活を支える医療・福祉サービスの確立は急務である。精神科訪問看護においては、精神障害者の地域移行促進により、訪問看護ステーションにおいても重症な精神障害者等への対応が求められ、複数名による訪問看護が必要な状況が増加している。

本調査研究では、訪問看護における精神科看護の機能とそれにかかる人員について実態を把握し、医療機関で先行して行われている複数名訪問について、訪問看護ステーションにおいても訪問看護の効果的な拡充策について検討できる基礎資料を収集し、精神科訪問看護が、精神障害者の地域移行支援により効果的に資する体制に関して提言を行うことを目的とした。

具体的には精神障害者を地域で支援するための精神科訪問看護ステーションの機能に着目し、訪問看護ステーションからの精神科訪問看護の実施頻度、対象・業務内容、地域における他の資源との連携の有無、およびその効果について調査した。この際、医療機関から提供される精神科訪問看護と、訪問看護ステーションから提供される精神科訪問看護の双方について、制度上の相違を考慮しながら検討する。医療観察法指定通院医療機関からの訪問看護に関しても、複数名訪問との関連で調査対象とする。これらの結果より、精神科訪問看護の地域移行支援における機能と、その機能を充実するための人員配置の根拠が明確化され、我が国における今後の精神科訪問看護の普及と質の向上に寄与することが期待される。

2. 実施体制

本調査研究では、精神科医師、精神科訪問看護に関する研究者や実務者等で構成された委員会を設置し、調査の企画や内容の検討、調査結果の分析・成果や課題の検討、報告書の内容検討・作成等を行うため、2回の委員会（第1回2008年12月18日、第2回2009年3月18日）を開催した。

主任研究者	萱 間 真 美	聖路加看護大学 精神看護学 教授
委 員	松 原 三 郎	医療法人財団松原愛育会松原病院 理事長
	佐 藤 茂 樹	成田日赤病院 精神神経科 部長
	高 木 俊 介	たかぎクリニック 院長
	仲 野 栄	社団法人日本精神科看護技術協会 専務理事
	上 野 桂 子	社団法人全国訪問看護事業協会 常務理事

	小川 忍	社団法人日本看護協会	常任理事
	角田 直枝	日本訪問看護振興財団	事業部長
	立森 久照	国立精神・神経センター	精神保健研究所 精神保健計画部 室長
研究協力者	岩田 宗久	医療法人交正会精治療病院	理事長
	川田 和人	医療法人財団松原愛育会松原病院	医療支援局 医療課長
厚生労働省	吉川 隆博	厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部	精神・障害保健課 障害保健専門官
研究協力者	瀬戸屋 希	聖路加看護大学	精神看護学 准教授
	沢田 秋	聖路加看護大学	精神看護学 助教
	石井 歩	聖路加看護大学大学院	修士1年
	小川 弘美	聖路加看護大学大学院	修士1年
	福山 友紀子	聖路加看護大学大学院	修士1年

(順不同・敬称略)

3. 実施方法

1) 調査の設計

本調査研究では、社団法人日本精神科病院協会の会員病院のうち訪問看護を実施している全ての病院、社団法人全国訪問看護事業協会の会員である全ての訪問看護ステーションを対象にしたアンケート調査を実施し、精神科訪問看護の実施状況とそれにかかる人員、複数名訪問の実態把握を行った。

なお、訪問看護ステーションに対する調査では、社団法人全国訪問看護事業協会の会員である全ての訪問看護ステーションを対象にした一次調査を実施し、回答のあった事業所のうち、平成20年10月から12月までの3カ月間に同一事業所の職員が複数名で同時に精神科訪問看護を実施した事業所を抽出し、それらの事業所を対象にしたより詳細な二次調査を実施した。

調査票は、記入者・調査内容に応じて、下表に示すように「訪問看護一次調査票」「訪問看護ステーション事業所票（二次調査）」「訪問看護ステーション個票（二次調査）」「病院施設票」「病院個票」の5種類から構成するものとした。

各調査票における回答時点・記入者は以下の通りである。

・訪問看護ステーション一次調査票

:平成20年10月から12月までの3カ月間の訪問看護の実施状況等について事業所管理者に対して記入を求めた。

・訪問看護ステーション事業所票（二次調査）

:平成21年2月1日時点の事業所概要、平成20年8月から12月の6カ月間の訪問看護の実施状況等について、事業所管理者に対して記入を求めた。

- ・訪問看護ステーション個票（二次調査）
 - ：平成20年8月から平成21年1月までの6カ月間に実施した精神科訪問看護（認知症を除く精神疾患を主傷病とする利用者への訪問看護）のうち、事業所職員が複数名で同時に訪問した利用者3名分を上限として、それぞれの利用者の状況について担当職員の記入を求めた。なお、調査対象となる利用者の抽出は事業所側が行い、重症度等の偏りがないように抽出することを求めた。
- ・病院施設票：平成21年2月1日時点の施設概要、平成20年8月から1月の6カ月間の訪問看護の実施状況等について、施設管理者又は事務責任者に対して記入を求めた。
- ・病院個票：平成21年1月26日から2月8日までの2週間に実施した精神科訪問看護のうち、施設職員が複数名で同時に訪問した利用者3名分を上限として、それぞれの利用者の状況について担当職員の記入を求めた。なお、調査対象となる利用者の抽出は施設側が行い、重症度等の偏りがないように抽出することを求めた。

図表 1-3-1 調査票の構成

種 類	調査内容
訪問看護ステーション 一次調査票	<input type="checkbox"/> 都道府県名・事業所名 <input type="checkbox"/> 訪問看護基本療養費（Ⅰ）、（Ⅲ）、介護保険で精神疾患（認知症を除く）が主傷病である利用者数【平成20年10月～12月】 <input type="checkbox"/> 訪問看護基本療養費（Ⅱ）を算定した利用者数【平成20年10月～12月】 <input type="checkbox"/> 訪問対象者数【平成20年10月～12月】 <input type="checkbox"/> 全ての延べ訪問回数、うち複数名訪問による延べ訪問回数、うち緊急訪問による延べ訪問回数【平成20年10月～12月】 <input type="checkbox"/> 精神科（精神科病院、一般病院の精神科病床等）での看護経験のある職員数 <input type="checkbox"/> 過去1年間における精神科訪問看護に関する教育・研修への参加状況 <input type="checkbox"/> 精神科訪問看護を行う上で困難なこと ↓以下の項目は精神科訪問看護を実施していない事業所のみ回答 <input type="checkbox"/> 精神科訪問看護を実施していない理由 <input type="checkbox"/> 過去1年間の精神科訪問看護の実施の有無 <input type="checkbox"/> 過去1年間の精神科訪問看護の依頼の有無、断った件数 <input type="checkbox"/> 精神科訪問看護の実施を可能にする報酬・制度
訪問看護ステーション 事業所票	1. 事業所の概要 <input type="checkbox"/> 開設主体 <input type="checkbox"/> 医療機関への併設状況、併設医療機関の種類 <input type="checkbox"/> 指定自立支援医療機関（訪問看護事業者等）の指定 <input type="checkbox"/> 精神障害者居宅介護等支援事業を実施している訪問介護事業所の併設の有無 <input type="checkbox"/> 職種別従事者数 2. 精神科訪問看護の実施状況【平成20年8月～平成21年1月】 <input type="checkbox"/> 精神科訪問看護の利用者数 <input type="checkbox"/> 紹介元別の利用者数

種 類	調査内容
	<input type="checkbox"/> 精神科訪問看護の担当職員数 <input type="checkbox"/> 精神科訪問看護の延べ訪問回数、うち複数名訪問の延べ訪問回数 <input type="checkbox"/> 主傷病別の利用者数 <input type="checkbox"/> 過去1年以内に入院経験のある利用者数、うち複数名訪問した利用者数 <input type="checkbox"/> 各月の精神科訪問看護の利用者数、うち新規に開始した利用者数 <input type="checkbox"/> 各月の精神科訪問看護の延べ訪問回数、うち複数名訪問による延べ訪問回数
訪問看護 ステーション 個 票	1. 本人の属性 <input type="checkbox"/> 性別・年齢 <input type="checkbox"/> 診断名、主たる診断名、合併症 <input type="checkbox"/> 医療機関への併設状況、併設医療機関の種類 <input type="checkbox"/> 主たる精神疾患の発症年齢、訪問看護開始時の年齢 <input type="checkbox"/> 過去の精神科入院経験の有無、過去1年間の精神科入院経験の有無 <input type="checkbox"/> 保険の種類 <input type="checkbox"/> 自立支援医療の利用の有無、障害程度区分 <input type="checkbox"/> 居住形態 <input type="checkbox"/> 就労状況
訪問看護 ステーション 個 票	2. 精神科訪問看護の実施状況【平成21年1月】 <input type="checkbox"/> 訪問先、移動時間・移動手段 <input type="checkbox"/> 訪問1回当たりの平均滞在時間 <input type="checkbox"/> 1カ月間の全訪問回数、うち複数名による訪問回数、うち複数名の看護師による訪問回数、うち看護師とその他職員による訪問回数 <input type="checkbox"/> 複数名訪問の際の役割分担 <input type="checkbox"/> 訪問看護への電話相談の状況 <input type="checkbox"/> 回答事業所以外に利用しているサービス 3. 複数名訪問が必要だった理由【直近の複数名訪問の際の状況】 <input type="checkbox"/> 複数名訪問が必要だった理由 <input type="checkbox"/> 複数名訪問の患者・家族への効果 <input type="checkbox"/> 身体的暴力、言葉による暴力、セクシャルハラスメント等の可能性 4. 利用者の精神障害の程度 <input type="checkbox"/> 機能の全体的評価尺度（Global Assessment of Functioning：GAF） <input type="checkbox"/> 社会行動評価尺度（Social Behaviour Schedule：SBS）
病 院 施 設 票	1. 施設の概要 <input type="checkbox"/> 都道府県名・病院名 <input type="checkbox"/> 開設主体 <input type="checkbox"/> 総病床数、うち精神科病床数、うち精神科救急入院病棟の精神科病床数、うち精神科急性期治療病棟の精神科病床数、うち精神科療養病棟の精神科病床数、うち老人性認知症疾患治療病棟の精神科病床数、うち老人性認知症疾患療養病棟の精神科病床数 <input type="checkbox"/> 病棟種類別の看護実質配置（看護配置、看護補助配置） <input type="checkbox"/> 平均在院日数（一般病棟、精神科病棟） <input type="checkbox"/> 精神科患者数（入院患者数、外来患者数） <input type="checkbox"/> 精神科訪問看護を行っている職種別職員数 2. 精神科訪問看護の実施状況【平成20年8月～平成21年1月】 <input type="checkbox"/> 精神科訪問看護の利用者数、うち複数名訪問した利用者数、うち退院前訪問指導の実施の有無 <input type="checkbox"/> 精神科訪問看護の延べ訪問回数、うち複数名訪問の延べ訪問回数 <input type="checkbox"/> 主傷病別の利用者数 <input type="checkbox"/> 過去1年以内に入院経験のある利用者数、うち複数名訪問した利用者数

種類	調査内容
	<input type="checkbox"/> 各月の精神科訪問看護の利用者数、うち新規に開始した利用者数 <input type="checkbox"/> 各月の精神科訪問看護の延べ訪問回数、うち複数名訪問による延べ訪問回数
病 個 院 票	1. 本人の属性 <input type="checkbox"/> 性別・年齢 <input type="checkbox"/> 診断名、主たる診断名、合併症 <input type="checkbox"/> 医療機関への併設状況、併設医療機関の種類 <input type="checkbox"/> 主たる精神疾患の発症年齢、訪問看護開始時の年齢 <input type="checkbox"/> 過去の精神科入院経験の有無、過去1年間の精神科入院経験の有無 <input type="checkbox"/> 保険の種類 <input type="checkbox"/> 自立支援医療の利用の有無、障害程度区分 <input type="checkbox"/> 居住形態 <input type="checkbox"/> 就労状況
病 個 院 票	2. 精神科訪問看護の実施状況【平成21年1月】 <input type="checkbox"/> 訪問先、移動時間・移動手段 <input type="checkbox"/> 訪問1回当たりの平均滞在時間 <input type="checkbox"/> 1カ月間の全訪問回数、うち複数名による訪問回数、うち複数名の看護師による訪問回数、うち看護師と精神保健福祉士による訪問回数、うち看護師と理学療法士又は作業療法士による訪問回数、うち看護師とその他職員による訪問回数 <input type="checkbox"/> 複数名訪問の際の役割分担 <input type="checkbox"/> 訪問看護への電話相談の状況 <input type="checkbox"/> 回答施設以外に利用しているサービス 3. 複数名訪問が必要だった理由【直近の複数名訪問の際の状況】 <input type="checkbox"/> 複数名訪問が必要だった理由 <input type="checkbox"/> 複数名訪問の患者・家族への効果 <input type="checkbox"/> 身体的暴力、言葉による暴力、セクシャルハラスメント等の可能性 4. 利用者の精神障害の程度 <input type="checkbox"/> 機能の全体的評価尺度（Global Assessment of Functioning：GAF） <input type="checkbox"/> 社会行動評価尺度（Social Behaviour Schedule：SBS）

2) 調査対象

本調査研究では、社団法人全国訪問看護事業協会の会員である全ての訪問看護ステーション 3,204 件を対象にした一次調査、一次調査に回答のあった事業所のうち、平成20年10月から12月までの3カ月間に同一事業所の職員が複数名で同時に精神科訪問看護を実施した事業所 71 件、社団法人日本精神科病院協会の会員病院のうち訪問看護を実施している全ての病院 759 件を対象にした調査を実施した。

3) 調査方法

(1) 訪問看護ステーション一次調査

FAX 発送・FAX 回収（自記式アンケート）
実施期間：平成 21 年 1 月 22 日～2 月 6 日

(2) 訪問看護ステーション二次調査・病院調査

郵送発送・郵送回収（自記式アンケート）
実施期間：平成 21 年 2 月 10 日～2 月 28 日

4) 回収状況

図表 1-3-2 回収状況

種 類		対象数	回収数	回収率	個 票 回収数
訪問看護ステーション	一次調査	3,402 件	1,105 件	32.5%	—
	二次調査	71 件	25 件	35.2%	39 件
病 院		759 件	64 件	23.3%	411 件

5) 倫理的配慮

本調査研究事業の実施にあたっては、聖路加看護大学研究倫理審査を受け承認を得るとともに、以下の点について配慮した。

- ・アンケート調査にあたっては、個別郵送回収とし、返送をもって同意とした。
- ・報告書の作成や公表にあたっては、匿名性を保持した。固有名詞等を出す場合には、当該事業所・施設の承諾のもとに表記を行った。

4. 表章上の留意点

本報告書中に示す表章、集計数値については、下記の点に留意されたい。

- ・合計数値と内訳数値は、四捨五入の関係で合致しない場合がある。
- ・各施設の患者数等の集計にあたっては、該当項目に回答のあった施設の数値（患者数等）を分母として構成割合等を算出しているため、各項目によって分母の数値が異なる。
- ・調査票中で複数回答を求めた項目については、図表タイトル中に「MA」と表記している。

第2章 精神科訪問看護の実施状況

1. 訪問看護ステーション（一次調査）

1) 回答事業所の概況

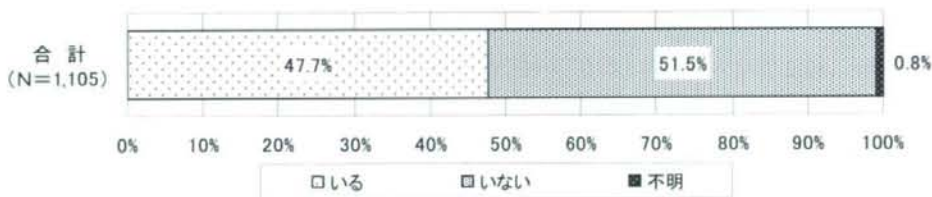
(1) 精神疾患が主傷病である利用者の状況

平成20年10月から12月までの3カ月間における、訪問看護基本療養費（Ⅰ）～（Ⅲ）、又は介護保険で、精神疾患（認知症を除く）が主傷病である利用者の有無についてみると、47.7%が「いる」との回答であった。利用者数は1事業所当たり平均17.6人であった。

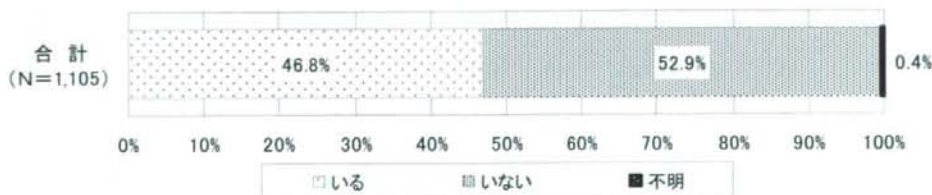
同期間における訪問看護基本療養費（Ⅰ）、訪問看護基本療養費（Ⅲ）、又は介護保険で、精神疾患（認知症を除く）が主傷病である利用者の有無についてみると、46.8%が「いる」との回答であった。また、利用者数は1事業所当たり平均16.6人であった。

同期間における訪問看護基本療養費（Ⅱ）を算定した利用者の有無についてみると、4.6%が「いる」との回答であった。また、利用者数は1事業所当たり平均11.4人であった。

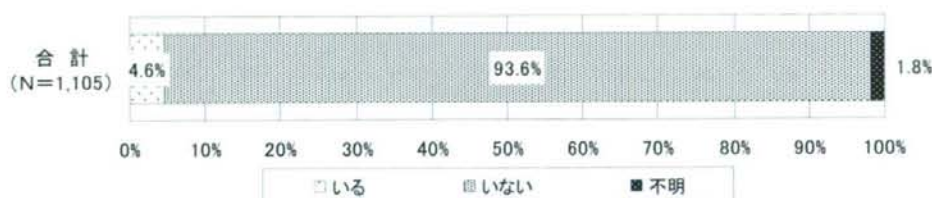
図表 2-1-1 訪問看護基本療養費（Ⅰ）～（Ⅲ）、又は介護保険で、精神疾患（認知症を除く）が主傷病である利用者の有無



図表 2-1-2 訪問看護基本療養費（Ⅰ）、訪問看護基本療養費（Ⅲ）、又は介護保険で、精神疾患（認知症を除く）が主傷病である利用者の有無



図表 2-1-3 訪問看護基本療養費（Ⅱ）を算定した利用者の有無



(2) 訪問看護の実施状況

また、平成 20 年 10 月から 12 月までの 3 カ月間における 1 事業所当たり延べ訪問回数についてみたものが図表 2-1-4 である。なお、複数名による精神科訪問看護を実施していた事業所は 72 事業所（6.5%）であった¹。

図表 2-1-4 訪問看護の実施状況

	1 事業所当たり平均回数	
	介護保険	医療保険
全ての延べ訪問回数	724.4 回	322.1 回
（うち）複数名訪問の延べ訪問回数	13.0 回	9.4 回
（うち）精神の複数名訪問の延べ訪問回数	0.2 回	0.7 回
（うち）緊急訪問の延べ訪問回数	10.6 回	5.4 回
（うち）精神の緊急訪問の延べ訪問回数	0.1 回	0.3 回

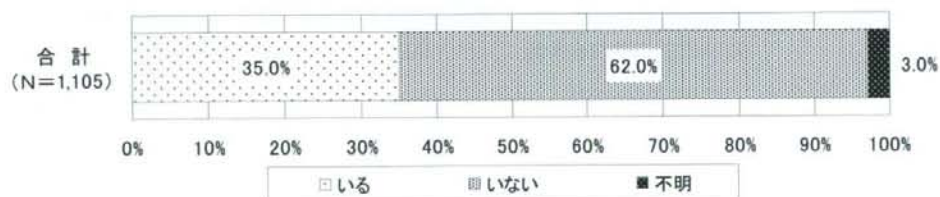
注：有効回答のあった 678 事業所での集計

(3) 職員の状況

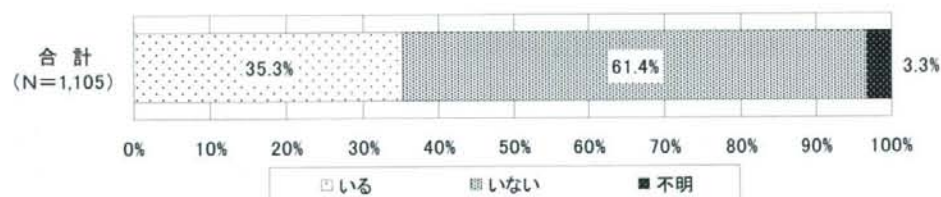
精神科（精神科病院、一般病院の精神科病床等）での看護経験のある職員の有無についてみると、「いる」との回答が 35.0%であった。また、1 事業所当たりの精神科看護経験のある職員数は 1.7 人であった。

さらに過去 1 年間における精神科訪問看護に関する教育・研修への参加者の有無についてみると、「いる」との回答は 35.3%であり、参加者は 1 事業所当たり 2.3 人であった。

図表 2-1-5 精神科（精神科病院、一般病院の精神科病床等）での看護経験のある職員の有無



図表 2-1-6 過去 1 年間における精神科訪問看護に関する教育・研修への参加者の有無



¹ 回収時期等の制約もあったため、この 72 事業所のうち 71 事業所を二次調査の対象とした。

(4) 精神科訪問看護を行う上で困難なこと

精神科訪問看護を行う上で困難なこととしては、「精神科訪問看護の経験豊富なスタッフが少ない」55.6%が最も多く、次いで「地域の社会資源（精神障害者社会復帰施設等）とのネットワークが少ない」36.4%、「アドバイスがタイムリーに受けられない」28.1%などとなっていた。

図表 2-1-7 精神科訪問看護を行う上で困難なこと【MA】

	事業所数	割合
精神科訪問看護の経験豊富なスタッフが少ない	614件	55.6%
地域の社会資源（精神障害者社会復帰施設等）とのネットワークが少ない	402件	36.4%
アドバイスがタイムリーに受けられない	310件	28.1%
病状悪化時の受け入れ先が確保できない	290件	26.2%
主治医との連携がうまくできない	240件	21.7%
その他	104件	9.4%
精神科訪問看護を実施したことがないので分からない	352件	31.9%
総数	1,105件	

2) 精神科訪問看護を実施しない理由

以下は、平成20年10月から12月までの3カ月間に、訪問看護基本療養費（Ⅰ）、訪問看護基本療養費（Ⅲ）、又は介護保険で精神疾患（認知症を除く）が主傷病である利用者、及び訪問看護基本療養費（Ⅱ）を算定した利用者が「いない」と回答した569事業所についての集計結果である。

精神科訪問看護を実施していない理由としては、「精神科訪問看護の経験がある職員がいないため」「その他」47.1%が最も多く、次いで「精神科訪問看護を担当できる職員がいないため」30.8%などとなっていた。

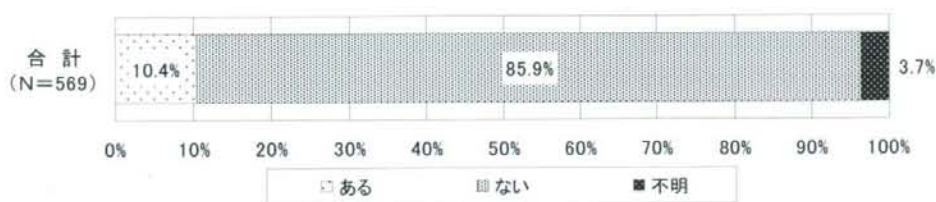
図表 2-1-8 精神科訪問看護を実施していない理由【MA】

	事業所数	割合
精神科訪問看護の経験がある職員がいないため	268件	47.1%
精神科訪問看護を担当できる職員がいないため	175件	30.8%
スタッフが不足しているため（上記項目以外）	145件	25.5%
精神科訪問看護にスタッフが抵抗感を持っているため	48件	8.4%
その他（もともと依頼がない等）	268件	47.1%
総数	569件	

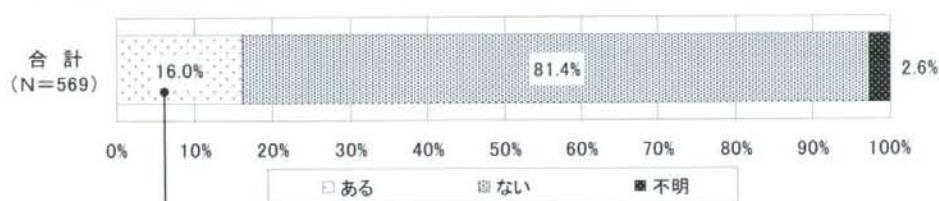
過去1年間における精神疾患（認知症を除く）が主傷病の利用者への訪問の有無をみると、「ない」との回答が85.9%であった。また、同期間における精神科訪問看護の訪問依頼の有無については、「ない」が81.4%であった。

一方、精神科訪問看護の依頼を断った経験が「ある」と回答した16.0%の事業所については、依頼を断った件数は1事業所当たり平均1.0回であり、断った理由としては「精神科訪問看護を担当するスタッフが不足していたため」35.2%が最も多く、次いで「訪問看護の依頼者の希望に沿えないため」28.6%であった。

図表 2-1-9 過去1年間の精神疾患（認知症を除く）が主傷病の利用者への訪問の有無



図表 2-1-10 過去1年間の精神疾患（認知症を除く）が主傷病の利用者への訪問依頼を断った経験の有無



図表 2-1-11 断った理由【MA】

	事業所数	割合
精神科訪問看護を担当するスタッフが不足していたため	32件	35.2%
訪問看護の依頼者の希望に沿えないため	26件	28.6%
依頼者の所在地が訪問エリア外だったため	6件	6.6%
その他	18件	19.8%
総 数	91件	

また、精神科訪問看護の実施を可能にする報酬・制度については、「2人以上の職員による訪問に対する報酬」55.2%が最も多かった。

図表 2-1-12 今後、どのような報酬・制度があれば精神科訪問看護の実施が可能か【MA】

	事業所数	割合
2人以上の職員による訪問に対する報酬	314件	55.2%
精神の利用者からの電話相談に対する報酬	215件	37.8%
その他	160件	28.1%
総 数	569件	100.0%

2. 訪問看護ステーション（二次調査）

1) 回答事業所の概況

(1) 設置主体・併設医療機関の状況

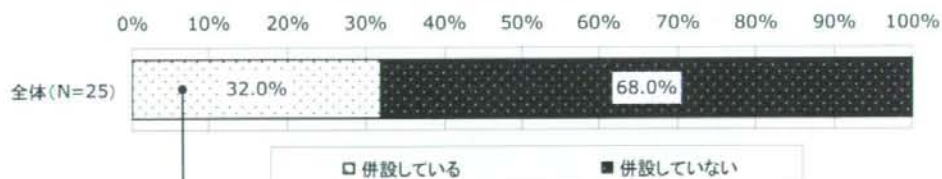
一次調査への回答において、平成20年10月から12月までの3カ月間に複数名による精神科訪問看護を実施していた訪問看護ステーション71事業所を対象にした二次調査に対する回答があった25事業所の設置主体（平成21年2月1日現在）をみると、「医療法人」28.0%が最も多く、次いで「営利法人（株式・合名・合資・有限会社）」20.0%、「社会福祉法人（社会福祉協議会を含む）」16.0%などとなっていた。

また、回答事業所の32.0%が医療機関に併設しており、併設医療機関の標榜診療科目をみると、精神科を標榜している診療所が50.0%であった。

図表 2-2-1 設置主体の状況

	事業所数	割合
医療法人	7件	28.0%
営利法人（株式・合名・合資・有限会社）	5件	20.0%
社会福祉法人（社会福祉協議会を含む）	4件	16.0%
医師会	3件	12.0%
看護協会	2件	8.0%
特定非営利活動法人（NPO）	2件	8.0%
社団・財団法人（医師会・看護協会以外）	1件	4.0%
消費生活協同組合及び連合会	1件	4.0%
合計	25件	100.0%

図表 2-2-2 医療機関との併設状況



図表 2-2-3 併設医療機関の診療科目

	事業所数	割合
精神科が主	2件	25.0%
精神科あり	2件	25.0%
精神科なし	4件	50.0%
合計	8件	100.0%

(2) 指定自立支援医療機関の指定の状況

指定自立支援医療機関（訪問看護事業者等）の指定状況（平成21年2月1日現在）をみると、「指定あり」が84.0%であった。指定の内訳は「精神通院医療」81.0%、「更生医療」19.0%、「育成医療」14.3%となっていた。

図表 2-2-4 指定自立支援医療機関の指定の状況



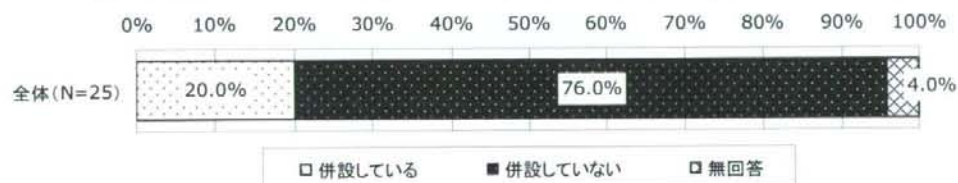
図表 2-2-5 指定自立支援医療機関の指定状況【MA】

	事業所数	割合
精神通院医療	17件	81.0%
更生医療	4件	19.0%
育成医療	3件	14.3%
無回答	3件	14.3%
総数	21件	

(3) 精神障害者居宅介護等支援事業を実施している訪問介護事業所の併設状況

精神障害者居宅介護等支援事業（ホームヘルプサービス）を実施している訪問介護事業所の併設状況（平成21年2月1日現在）をみると、「併設している」との回答が20.0%であった。

図表 2-2-6 精神障害者居宅介護等支援事業を実施している訪問介護事業所の併設状況



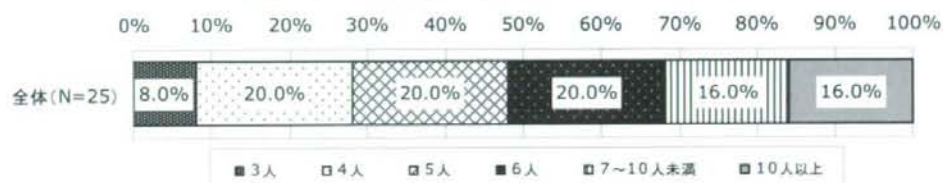
(4) 1事業所当たり職員数の状況

常勤換算職員数（平成21年2月1日現在）についてみると、1事業所当たり平均7.88人（看護職員6.48人、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士0.68人、その他の職員0.72人）であった。

図表 2-2-7 1事業所当たり常勤換算職員数

	職員数	割合
看護職員	6.48人	82.2%
（うち）PSW資格保有者	0.00人	0.0%
PT・OT・ST	0.68人	8.6%
その他の職員	0.72人	9.1%
合計	7.88人	100.0%

→ 図表 2-2-8 看護職員数規模別にみた事業所数の構成



また、平成20年8月1日から平成21年1月31日までの6カ月間に精神科訪問看護を担当した職員数は1事業所当たり平均4.63人であり、そのうち精神科看護経験のある職員は平均1.32人であった。

図表 2-2-9 1事業所当たりの精神科看護担当職員数

	職員数
精神科訪問看護の担当職員	4.63人
（うち）精神科看護経験のある職員	1.32人

注. 有効回答のあった19事業所での集計

2) 精神科訪問看護の実施状況

(1) 1事業所当たり利用者数・延べ訪問回数などの状況

以下は、主傷病別利用者数等の利用者数内訳の全項目に有効回答のあった19事業所での集計結果である。

平成20年8月1日から平成21年1月31日までの6カ月間における精神科訪問看護の実施利用者数及びその紹介元、延べ訪問回数などをみたものが図表2-2-10である。

精神科訪問看護の実施利用者数（実人数）は、訪問看護基本療養費（Ⅰ）、（Ⅲ）、又は介護保険の利用者は1事業所当たり平均19.42人であった。また、訪問看護基本療養費（Ⅱ）の利用者は平均1.11人であった。

利用者の紹介元をみると、訪問看護基本療養費（Ⅰ）、（Ⅲ）、又は介護保険の利用者については「通院していた病院の主治医」31.7%が最も多く、次いで「入院していた病院の主治医」27.9%、「通院していた診療所の主治医」19.2%などであった。また、訪問看護基本療養費（Ⅱ）の利用者については「通院していた病院の主治医」71.4%、「入院していた病院の主治医」28.6%であった。

延べ訪問回数をみると、訪問看護基本療養費（Ⅰ）、（Ⅲ）、又は介護保険の利用者については1事業所当たり平均424.89回で、そのうち複数名による訪問は平均81.32回（19.1%）であった。また、訪問看護基本療養費（Ⅱ）の利用者については1事業所当たり平均18.00回で、そのうち複数名による訪問は平均12.32回（68.4%）であった。

図表 2-2-10 1事業所当たり精神科訪問看護の実施利用者数、延べ訪問回数

		訪問看護基本療養費（Ⅰ）、（Ⅲ） 又は介護保険		訪問看護基本療養費（Ⅱ） (精神障害者社会復帰施設等への訪問)	
		人数	割合	人数	割合
精神科訪問看護の実施利用者数		19.42人	100.0%	1.11人	100.0%
紹介元の施設等	入院していた病院の主治医	5.42人	27.9%	0.32人	28.6%
	入院していた診療所の主治医	0.11人	0.5%	0.00人	0.0%
	通院していた病院の主治医	6.16人	31.7%	0.79人	71.4%
	通院していた診療所の主治医	3.74人	19.2%	0.00人	0.0%
	他の訪問看護ステーション	0.05人	0.3%	0.00人	0.0%
	行政担当部署	2.32人	11.9%	0.00人	0.0%
	患者の家族・親族	0.42人	2.2%	0.00人	0.0%
	その他	1.21人	6.2%	0.00人	0.0%
精神科訪問看護の延べ訪問回数		424.89回	100.0%	18.00回	100.0%
(うち)複数名での延べ訪問回数		81.32回	19.1%	12.32回	68.4%

注. 有効回答のあった19事業所での集計

次に利用者の主傷病をみると、訪問看護基本療養費（Ⅰ）、（Ⅲ）、又は介護保険の利用者については「統合失調症」71.0%が最も多く、次いで「気分障害（うつ病、躁うつ病）」13.3%、「依存症」5.1%などであった。また、訪問看護基本療養費（Ⅱ）の利用者については「統合失調症」90.5%であった。

また、主傷病別に訪問看護基本療養費（Ⅰ）、（Ⅲ）、又は介護保険の利用者への複数名訪問の実施割合をみると「神経症性障害およびパーソナリティ障害」63.6%が最も多く、次いで「発達障害」60.0%、「依存症」52.6%などであった。

図表 2-2-11 主傷病別にみた1事業所当たり精神科訪問看護の実施利用者数の状況

	訪問看護基本療養費（Ⅰ）、（Ⅲ） 又は介護保険		訪問看護基本療養費（Ⅱ） （精神障害者社会復帰施設等への訪問）	
	人数	割合	人数	割合
精神科訪問看護の実施利用者数	19.42人	100.0%	1.11人	100.0%
（うち）過去1年以内に入院経験あり	3.58人	18.4%	0.05人	4.8%
（うち）複数名訪問した利用者	1.37人	7.0%	0.00人	0.0%
統合失調症	13.79人	71.0%	1.00人	90.5%
（うち）複数名訪問した利用者	5.11人	26.3%	0.21人	19.0%
気分障害（うつ病、躁うつ病）	2.58人	13.3%	0.00人	0.0%
（うち）複数名訪問した利用者	0.84人	4.3%	0.00人	0.0%
依存症	1.00人	5.1%	0.00人	0.0%
（うち）複数名訪問した利用者	0.53人	2.7%	0.00人	0.0%
神経症性障害およびパーソナリティ障害	0.58人	3.0%	0.05人	4.8%
（うち）複数名訪問した利用者	0.37人	1.9%	0.00人	0.0%
発達障害	0.53人	2.7%	0.00人	0.0%
（うち）複数名訪問した利用者	0.32人	1.6%	0.00人	0.0%
その他	0.95人	4.9%	0.05人	4.8%
（うち）複数名訪問した利用者	0.37人	1.9%	0.05人	4.8%

注. 有効回答のあった19事業所での集計

図表 2-2-12 主傷病別にみた複数名訪問看護の実施割合

	訪問看護基本療養費（Ⅰ）、（Ⅲ） 又は介護保険	訪問看護基本療養費（Ⅱ） （精神障害者社会復帰施設等への訪問）
神経症性障害およびパーソナリティ障害	63.6%	0.0%
発達障害	60.0%	—
依存症	52.6%	—
統合失調症	37.0%	21.1%
気分障害（うつ病、躁うつ病）	32.7%	—
その他	38.9%	100.0%

注. 有効回答のあった19事業所での集計

(2) 1事業所当たり利用者数・延訪問回数の推移

平成20年8月から平成21年1月までの各月における精神科訪問看護の実施状況を見ると、精神科訪問看護の新規利用者数の割合が2.2%から8.0%の幅で変動しているのに対して、複数名訪問看護の訪問延回数の割合は29.4%から31.0%の幅で推移していたが、新規利用者数の割合が減少した月に複数名訪問の回数の割合が増加しているなど、二者の間に相関はみられなかった。

図表 2-2-13 1事業所当たり利用者数・延訪問回数の推移

	8月	9月	10月	11月	12月	1月
精神科訪問看護の実施利用者数	17.11人	18.42人	18.89人	19.00人	19.21人	19.63人
（うち）新規に開始した利用者数	1.11人	1.47人	0.68人	0.42人	0.58人	0.53人
新規に開始した利用者数の割合	6.5%	8.0%	3.6%	2.2%	3.0%	2.7%
精神科訪問看護の延べ訪問回数	79.58回	85.05回	91.26回	81.79回	90.11回	86.58回
（うち）複数名訪問した延べ訪問回数	23.37回	25.26回	27.95回	25.37回	27.37回	26.37回
複数名訪問した延べ訪問回数の割合	29.4%	29.7%	30.6%	31.0%	30.4%	30.5%

注. 有効回答のあった19事業所での集計

3. 病院

1) 回答施設の概況

(1) 設置主体

本調査の回答施設の開設主体（平成21年2月1日現在）をみると、「医療法人」が83.1%であった。

図表 2-3-1 開設主体の状況

	事業所数	割合
医療法人	147件	83.1%
個人	5件	2.8%
公的・社会保険 国	1件	0.6%
都道府県・市町村	0件	0.0%
その他	22件	12.4%
無回答	2件	1.1%
合計	177件	100.0%

(2) 病床数

1施設当たりの総病床数は平均274.3床で、そのうち精神科病床は平均253.1床であった。精神科病床数の規模別に施設数の構成をみると、「100～199床」32.4%が最も多く、次いで「200～299床」30.1%となっていた。

図表 2-3-2 1施設当たり病床数の状況

	平均病床数	割合
総病床数	274.3床	100.0%
(うち)精神科病床	253.1床	92.3%
(うち)精神科救急入院病棟	2.1床	0.8%
(うち)精神科急性期治療病棟	18.1床	6.6%
(うち)精神科療養病棟	24.2床	8.8%

注：1施設が無回答であったため、176施設での集計

図表 2-3-3 精神科病床数規模別の施設数の構成

